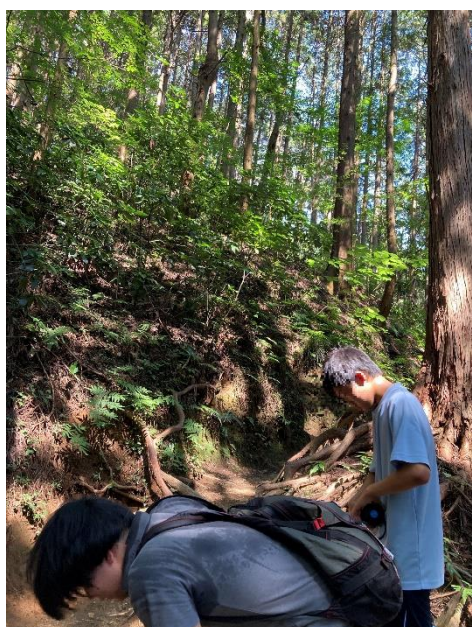


令和6年7月20日

かげのぶやま 景信山

景信山は、東京都と神奈川県境界にある標高727mの山です。名前の由来は、北条氏照の家臣・横地景信が敵軍である武田信玄の襲撃に備えて、景信山一帯に山城を整備したのが由来とされています。いわれてみると、のろし台を置くのに最適な展望が東側斜面に広がっています。そんな防衛拠点として活躍した横地景信と景信山でしたが、最終的には武田信玄の進軍を止めることはできず敗走しています。1569年、武田信玄の軍勢が小仏峠・碓氷峠を越え、武蔵国・相模国に侵攻した際、北条氏照は横地景信に迎撃を命じましたが、高尾山麓の廿里（現、八王子市廿里町）にて敗退しました。

山頂には広大な広場と2軒のお茶屋があるので、休憩ポイントとしても人気の山です。山頂からの景色も良く関東平野を一望できます。天気の良い日はスカイツリーや東京タワーを始め、遠くには筑波山や丹沢、奥多摩の山々、相模湖方面を向けば、雄大な富士山も見られます。



山頂





戦国時代、横地景信もこの展望を見ながら武田軍の襲撃を見張っていたと思うと感慨深いですね。

